

平成30年度 指定管理者施設管理評価シート

			<b>部課名</b>	教育委員会事務局児童保育課	
<b>施設名称</b>	33	東京都台東区立松が谷児童館	<b>指定管理者</b>	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		<b>指定期間</b>	H27. 4. 1	～ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的]	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
(2)	[所在地]	台東区松が谷 4 - 1 5 - 1 1
(2)	[規模]	R C 4 階建 3 ・ 4 階 事務室 ・ 遊戯室 ・ 図書室 ・ 工作室 ・ 集会室兼音楽室等 松が谷保育園 ・ 松が谷こどもクラブ併設
(3)	[委託事業]	①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業
(3)	[自主事業]	自主事業は行っていない。
(4)	[利用者]	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。
(4)	[利用料金制]	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他 ( )
(5)	[開館日・時間]	月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日除く）：午前9時30分～午後6時一部開放 休館日：年末年始、祝祭日（5月5日は開放）
(6)	[人員体制]	9 名 (内 訳) 常勤職員 5 名、短時間職員 2 名、アルバイト等 2 名 (前年増減) 常勤職員 1 名増、アルバイト等 1 名増

2. 予算決算

		28予算	28決算	29予算	29決算
収入	委託料（指定管理料）	45,335,000	41,971,360	52,484,000	47,251,596
	利用料金収入				
	その他収入（行事参加費収入）		15,900		25,300
	計	45,335,000	41,987,260	52,484,000	47,276,896
支出	人件費	32,568,000	28,650,545	38,685,000	33,553,167
	光熱水費	1,569,000	1,324,614	1,620,000	1,454,546
	維持管理費（委託料・賃借料）	1,384,000	672,723	1,602,000	1,036,683
	修繕費	300,000	444,938	150,000	265,226
	事業費	3,578,000	6,171,150	4,304,000	6,635,022
	その他支出（事務消耗品費等）	5,936,000	4,723,290	6,123,000	4,332,252
	計	45,335,000	41,987,260	52,484,000	47,276,896
<b>収支</b>			0		0

3. 活動指標

	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
開館日数	日	326	331	332	332
事業実施回数	回	820	689	843	815

4. 成果指標

	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
利用者数	人	32,000	32,374	34,125	37,942
利用登録者数	人	880	1,148	960	982

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

28年度は利用者数が減少したため、活動内容の工夫が求められたが、利用時間帯の工夫、活動場所の住み分けなど、日常活動を充実させたことで、利用者数が増加した。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設運営にあたっては、子供、家庭、地域に分けた活動の事業計画書を作成し、事業終了後は、実績と検証を含めた事業計画書が提出されている。また、組織力をあげるために職員の研修参加を促進し、人材育成を図るなど、適正な運営が行われている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	休館日である日曜日にも、第2日曜日以外は施設開放を行い、児童の居場所を確保するなど、児童福祉の向上に努めている。平日の音楽室に乳幼児専用の時間帯を設け、乳幼児親子の安心な環境を整えるなど、利用者ニーズに応えた運営が施設の目的に合致している。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	水質検査や乳幼児の遊具の消毒は毎日行い、換気扇やエアコンのフィルターの清掃は毎月行うなど、施設の環境衛生に配慮した維持管理が行われている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	入口のカウンターにハムスター、インコ、ザリガニなどの生き物と解説を設置して、利用者の楽しみや関心を高め、館内の壁面や入口に植物を置き、季節感を高める工夫を図ったことなどにより、高い利用者満足度を得ている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	エコ活動の関心を高める館内掲示をすることで、省エネルギーを呼びかけ、経費節減に努めている。一方で、予算科目間の流用等が見られるため、計画的な予算執行に課題がある。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 ( 98 / 110点)	<p>【所見】 乳幼児親子、小学生、中高生と各世代の利用者数が伸び、多くの児童・生徒の放課後の居場所として適切な運営が行われている。大規模改修後も引き続き、安心・安全な居場所としての事業運営が期待される。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 予算内の執行ではあるが、予算科目間での流用等が見られるため、計画的な予算執行が求められる。</p>